

過去の治療データの調査研究への使用のお願い

当院では下記の研究を行っております。この研究は、不安定型骨盤輪骨折の後方損傷に対する transsacral-transiliac screw 固定症例のスクリー設置位置、合併症を調べることを主な目的としています。そのため、過去に不安定型骨盤輪骨折の手術治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

課題名：不安定型骨盤輪骨折の後方損傷に対する transsacral-transiliac screw 固定症例のスクリー設置位置、合併症に関する検討

<目的及び概要>

不安定型骨盤輪骨折に対して現在様々な固定法で手術が行われています。当院では不安定型骨盤輪骨折の転位の少ない後方損傷に対して transsacral-transiliac screw による固定を行っていますが、スクリー設置位置、骨癒合率、合併症について調査し報告することを目的としています。

<研究方法>

2015年1月から2020年7月に transsacral-transiliac screw により手術加療を行った不安定型骨盤輪骨折症例36例骨折型、固定法、手術時間、スクリー設置位置、骨癒合、術後合併症をカルテから調査し検討します。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<費用に関して>

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。また、患者様への謝礼等ありません。

<研究者>

整形外科：黒島 康平

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）

令和 2 年 9 月 23 日倫理委員会承認（迅速審査）（受付番号 R2-32 ）